

2. 館年表

2.1. 再編整備決定から開館まで

1986 年	12 月	第二次新神奈川計画において、博物館の再編整備が決定	1992 年	4 月	組織改正により生涯学習部博物館開設準備室となり、企画調整班、自然系整備班、人文系整備班、展示・資料整備班の 4 班体制となる
1988 年	7 月	神奈川県立自然系博物館（仮称）を小田原市入生田に建設することが決定	6 月	第二期造成工事着手	博物館情報システム開発プロポーザル実施
	12 月	神奈川県立博物館整備構想懇談会（座長：渡邊 格（慶応義塾大学名誉教授））から提言	8 月		
1989 年	3 月	神奈川県立自然系博物館（仮称）整備計画策定 神奈川県立自然系博物館（仮称）展示計画策定	10 月		博物館情報システム開発調査設計着手 自然系博物館（仮称）建築工事着手 自然系博物館（仮称）展示工事着手
	4 月	教育庁社会教育部社会教育課に博物館建設準備班を設置	1993 年	4 月	博物館情報システム開発着手
	11 月	神奈川県立自然系博物館（仮称）資料収集委員会（委員長：上田誠也（東京大学名誉教授））発足	6 月	第三期造成工事着手	
	12 月	展示設計プロポーザル実施 展示基本設計着手	1994 年	6 月	第四期造成工事着手
1990 年	2 月	建築設計プロポーザル実施 建築調査設計着手	12 月		自然系博物館（仮称）建築工事竣工 神奈川県立博物館条例一部改正
	3 月	自然系博物館の建設事業が、小田原市との協調事業となる 神奈川県立自然系博物館（仮称）資料収集計画策定 博物館情報システム整備計画策定	1995 年	1 月 1 日	神奈川県立生命の星・地球博物館が機関設置され、管理部に管理課、経理課、企画情報部に企画普及課、情報資料課及び学芸部の 3 部 4 課を置く
	9 月	博物館情報システム実施計画策定	3 月		博物館法第 11 条の規定に基づく登録博物館となる 生命の星・地球博物館展示工事竣工
	10 月	建築基本設計着手	3 月 20 日		開館記念式典実施
1991 年	3 月	自然系博物館（仮称）建設用地（小田原市入生田）取得	3 月 21 日		一般公開開始
	4 月	組織改正により教育庁社会教育部社会教育課が、生涯学習部生涯学習課となる			
	10 月	第一期造成工事着手 建築実施設計着手 展示実施設計着手			

2.2. 開館から 2025 年度末まで（資料収集・調査研究事業を除く）

1995 年	3 月 21 日	一般公開開始	1998 年	1 月 30 日	日本古生物学会 1998 年年会(2 月 1 日まで)
	4 月 29 日	開館記念講演会「地球を歩いてみませんか」濱田隆士・中雄一	3 月 21 日		開館 3 周年記念事業「生命の星・地球フェスタ'98」(3 月 29 日まで)
	5 月 7 日	入館者 10 万人到達(開館 41 日目)	3 月 30 日		天皇后両陛下下行幸啓
	6 月 22 日	紺綬褒章の伝達式(櫻井都美子・小泉明裕)	4 月 4 日		日本動物分類学会第 34 回大会(4 月 5 日まで)
	9 月 6 日	ジブリ共和国大統領ご視察	8 月 26 日		日本第四紀学会 1998 年大会(8 月 28 日まで)
	9 月 24 日	入館者 30 万人到達(開館 158 日目)	9 月 12 日		中国遼寧省友好代表团来館
	11 月 10 日	神奈川県博物館協議会（2001 年まで毎年実施）	11 月 3 日		入館者 150 万人到達(開館 1,090 日目)
1996 年	3 月 20 日	開館 1 周年記念講演会「自然史(誌)系博物館の位置づけ」沼田 眞・中川志郎・濱田隆士	1999 年	3 月 20 日	「トーキングサイン・ガイドシステム」発表会
	4 月	シンボルマーク製作	8 月 4 日		中国科学院南京地質古生物学研究所所長ほか視察
	4 月 17 日	入館者 50 万人到達(開館 321 日目)	11 月 6 日		日本蛸蛤学会大会(11 月 7 日まで)
	6 月 1 日	学習指導員による団体サービス(ガイドンス)	11 月 12 日		天皇陛下ご在位 10 周年慶祝事業 無料公開
	9 月	ガイドンスビデオ製作	11 月 14 日		みなかんネットワーク大会
1997 年	3 月 1 日	エントランスガイドンス開始	11 月 27 日		常設展示化石標本 3 点の盗難を確認
	3 月 20 日	開館 2 周年記念講演会「3 年目を迎える博物館の新しい活動・博物館をこんなふうに利用してみませんか」浜口哲一・濱田隆士	12 月 9 日		常設展示化石標本 10 点の盗難を確認
		バリアフリー音声ガイドサービス開始	2000 年	3 月 20 日	開館 5 周年記念講演会「博物館は宝の山!」
	3 月 21 日	日本植物分類学会第 27 回大会(3 月 23 日まで)	3 月 23 日		Xu Daosheng(湖北省博物館)・Jang, Sang-Hoon(韓国国立中央博物館)ほか視察
	5 月 10 日	生命の星・地球博物館友の会発足	3 月 31 日		濱田隆士館長退任
	7 月 23 日	入館者 100 万人到達(開館 705 日目)	4 月 1 日		青木淳一館長就任
	10 月 17 日	WESKAMS ミュージアム・リレーを開始	5 月 13 日		日本土壌動物学会第 23 回大会(5 月 14 日まで)
	11 月 15 日	日本鞘翅学会第 10 回記念大会(11 月 16 日まで)	8 月 6 日		入館者 200 万人到達(開館 1,613 日目)
			10 月 6 日		2000 年度日本魚類学会年会(10 月 9 日まで)
			10 月 15 日		200 万人達成記念展示「写真コンテスト応募作品」

2001 年

3 月 20 日	開館 6 周年記念講演会「自然史(誌)を楽しむ～ いま箱根の自然は～」
3 月 27 日	神奈川県博物館協議会を廃止
4 月 15 日	青木淳一館長が南方熊楠賞を受賞
10 月 19 日	中国遼寧省職員視察
11 月 9 日	ミュージアム・リレー第 50 走達成記念講演会
11 月 22 日	ミュージアム・リレー第 50 走達成記念シンポジウム
11 月 23 日	日本蜻蛉学会(11 月 25 日まで)

2002 年

2 月 21 日	博物館課題研究会「博物館のめざすべき方向」
3 月 19 日	箱根フリーパス対象施設に参加
3 月 21 日	開館 7 周年記念シンポジウム「触まれるかながわの生物」
7 月 19 日	入館者 250 万人到達(開館 2, 206 日目) 250 万人達成感謝ウィーク
7 月 21 日	「自然を楽しむみち」案内板贈呈式

2003 年

1 月 30 日	博物館課題研究会「博物館の独立行政法人化の動きと現状について」
3 月 11 日	全国科学博物館協議会総会(3 月 12 日まで)
3 月 21 日	ミュージズ・フェスタ(開館記念事業として、以降毎年実施)
3 月 28 日	青木淳一館長が小田原城下町大使に就任
7 月 20 日	夏休み期間中、17 時 30 分まで開館時間延長(2004 年まで実施)
8 月 2 日	日本蘇苔類学会(8 月 3 日まで)

2004 年

3 月 9 日	博物館課題研究会「博物館評価の現状とその実例 について」
5 月 25 日	入館者 300 万人到達(開館 2, 770 日目)
11 月 20 日	日本鞘翅学会第 17 回大会(11 月 21 日まで)

2005 年

3 月 8 日	博物館課題研究会「指定管理者制度とその導入の動向について」
7 月 18 日	夏休み中無休開館期間(以降、毎年実施)

2006 年

1 月 14 日	ミュージアム・リレー第 100 走達成記念行事(1 月 15 日まで)
3 月 23 日	博物館課題研究会「指定管理者の指定を受けて」
3 月 31 日	青木淳一館長退任
4 月 1 日	管理部と経理課が廃止され、管理課、企画情報部の企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる。
	斎藤靖二館長就任
7 月 8 日	入館者 350 万人到達(開館 3, 409 日目)
11 月 12 日	自然史学会連合講演会「教科書で学べない自然史」

2007 年

2 月 28 日	全国科学博物館協議会理事会総会
3 月 30 日	博物館課題研究会

2008 年

3 月 11 日	博物館課題研究会
3 月 22 日	子ども自然科学作品展(以降毎年実施)
8 月 12 日	入館者 400 万人到達(開館 4, 062 日目)

2009 年

3 月 10 日	博物館課題研究会「展示照明の現状と課題」
----------	----------------------

2010 年

10 月 21 日	入館者 450 万人到達(開館 4, 863 日目)
-----------	----------------------------

2011 年

3 月 13 日	ミュージズ・フェスタ 2011(東日本大震災により中止)
----------	------------------------------

2012 年

8 月 3 日	入館者 500 万人到達(開館 5, 183 日目)
---------	----------------------------

2013 年

8 月 22 日	世界の動物切手コレクション寄贈(功刀欣三様)
10 月 8 日	天皇陛下行幸啓(特別展天覧)
11 月 29 日	奥村定一昆虫コレクション寄贈(奥村哲子様)

2014 年

1 月 13 日	入館者 550 万人到達(開館 5, 716 日目)
3 月 19 日	貝類標本コレクション寄贈(名倉菊江様)
3 月 31 日	斎藤靖二館長退任
4 月 1 日	平田大二館長就任、斎藤靖二名誉館長就任
7 月 7 日	林原自然科学博物館教材・教育用標本一式寄贈(株式会社林原メセナセンター)
9 月 11 日	メソサウルス類化石・ダウリアチョウザメ本剥製・アラスカ産オオカミ本剥製寄贈(三浦菊男様)

2015 年

3 月 15 日	開館 20 周年記念シンポジウム「自然史系博物館のあるべき姿と評価軸－生命の星・地球博物館の活動から－」
8 月 29 日	入館者 600 万人到達(開館 6, 190 日目)
10 月 31 日	今関細密画コレクション寄贈(今関士郎様)

2016 年

3 月 16 日	子ども自然科学作品展会期を延長(5 月 8 日まで) 活動報告展の休止
----------	-------------------------------------

2017 年

5 月 3 日	入館者 650 万人到達(開館 6, 667 日目)
---------	----------------------------

2018 年

10 月 26 日	入館者 700 万人到達(7, 104 日目)
-----------	-------------------------

2019 年

2 月 24 日	天皇陛下ご在位 30 周年慶祝事業 無料公開
5 月 1 日	天皇御即位慶祝事業 無料公開
10 月 22 日	即位礼正殿の儀 無料公開

2020 年

3 月 4 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(6 月 30 日まで)
11 月 5 日	入館者 750 万人到達(7, 594 日目)

2021 年

1 月 12 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(3 月 22 日まで)
3 月 22 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館を継続(ただし事前に予約をされた方に限り入館可能)
10 月 25 日	通常開館

2023 年

3 月 31 日	斎藤靖二名誉館長退任
5 月 31 日	平田大二館長退任
6 月 1 日	田中徳久館長就任
7 月 26 日	入館者 800 万人到達(8, 220 日目)

2024 年

3 月 14 日	改正博物館法に基づく博物館登録
----------	-----------------

2025 年

6 月 7 日	入館者 850 万人到達(8, 752 日目)
---------	-------------------------

2026 年

3 月 31 日	田中徳久館長退任
----------	----------